

税金を有効化する

川崎市立川崎高等学校附属中学校3年 村松 里桜

私の姉は今年新成人だ。七月十日に行われた参議院議員選挙に姉は参加した。そのため、家族の中でも選挙への関心が高まった。家に届いた候補者の新聞やテレビの選挙結果を見るなど、私に選挙権はないがこれまでよりも選挙に興味を持っていた。その中でふと、選挙のためのお金はどこから出ているのだろうと疑問に思った。調べてみると、「税金」だった。

前回の参議院議員選挙にかかった費用は、なんと約六百四億円。有権者数をもとに考えると、有権者一人あたり、約五百七十円のお金がかかっていることにある。最近では約半数の人が選挙に行っていないことが社会問題となっている。しかし、考えてみると、その人たちは一回の選挙あたり六百円近く、そして全体で見れば、単純計算で約三百億円の税金を捨てていることになる。日本国民がせっかく納めている税金は、これほど無駄になり、日本国民が無駄にしているのである。

また、今回国民が参議院議員を決めたことで、その人は六年任期を務めることになる。ある記事には、国の年間予算を組み合わせて考えると、参議院議員選挙の一票には六百十一万円の価値があると書いてあった。つまり、一人のその一票がそれほどの税金の使い道を決めることができるということなのだ。しかし、増税のとき不満を持っている国民がいることや、議会で寝ている議員がいることを取り上げているテレビ番組もあった。それに対して税金の無駄だと言っている人もいた。このような社会や政策にしたのは、議員ではなく、それを選んだ国民なのである。自分たちの意見をしっかりと伝えられる「選挙」という機会が設けられているのにも関わらず、それに参加しない。という税金の無駄遣いサイクルができてしまっているのである。

私たちが安心して生活を送れているのはまぎれもなく税金のおかげだ。教育を受けられるのも、安全な水を飲めるのも、税金がなかったらとても難しいことだ。ではその税金のために私たちにできることはあるのか。短期的にも長期的にも税金を無駄にしないために選挙に参加すること。また、私のように選挙権を持たない人の場合は、まず「税金」についての正しい知識を身につけること。正しい知識は税金について考えるうえでの基礎なため、必ず必要なことだ。そして、自分が、どのようなことに税金が使われてほしいかを考えておくことが大切だと思う。このように一人一人の税金に対する意識を高めることで、税金が有効化され、よりよい社会を構築することができるはずだ。